

奥山游悦

道場に氣合一声鏡餅
旅心なほ止みがたく西行忌
日本の空が大好き鯉のぼり
無人駅遠巻きにする蛙かな
雲の峰明日は異郷へ旅に立つ
新涼や生徒の顔も大人びて
払うてもついと寄り来る赤蜻蛉

親潮の紺に染まりし秋刀魚かな
夕明かりあふれし水に葱洗ふ
人混みを怖れずに行く冬帽子

.....

この句会に参加してからまだ日が浅いが、谿聲主宰から褒められてその気になり、また、氣心の知れた仲間との合評も楽しく、大変勉強になる。専門誌などを讀むと、俳句については国際交流も盛んで、日本の名句のすぐれた外国語訳もあるのに驚く。あらためて、俳句は世界に誇るべき日本の文化であることを再認識した。
週末などに、あれこれ句作をするというひときは、自分にとって、もっとも心が安らぐ時間である。思いがけない俳句ができて、自分でも驚くことがある。もう一人の自分を発見する愉しみともいえる。このような愉しみを教えてくれた主宰の回復を切に願う。